

語句のまとめ

クラス 氏名

1 花のつくりとはたらき

- (1) おしべの先端のふくらんだ部分。
- (2) めしべの先端部分。
- (3) めしべのもとのふくらんだ部分。
- (4) 受粉後、胚珠が成長したもの。
- (5) 受粉後、成長して種子になるもの。
- (6) 被子植物のめしべの柱頭や、裸子植物の胚珠に花粉がつくこと。
- (7) 受粉後、子房が成長してできるもの。
- (8) 種子をつくる植物。
- (9) 胚珠がむき出しになっている植物。
- (10) 胚珠が子房の中にある植物。
- (11) 裸子植物の雄花のりん片にあるふくろ。

2 葉・茎・根のつくりとはたらき

- (1) 生物のからだを形づくる小さな部屋のようなもの。
- (2) 植物の細胞の中にある緑色の粒。
- (3) 葉に見られる筋のようなつくり。
- (4) 道管や師管の集まり。
- (5) 葉の表皮にある孔辺細胞に囲まれたすきま。
- (6) 根から吸い上げられた水が水蒸気になって出ていくこと。
- (7) 植物が光を受けてデンプンなどの養分をつくるはたらき。
- (8) 生物が、からだに酸素をとり入れ、二酸化炭素を出すはたらき。
- (9) 維管束のなかで、根から吸収された水や肥料分の通り道である管。
- (10) 維管束のなかで、葉でつくられた養分が、水にとけやすい物質に変えられた後に通る管。
- (11) 単子葉類の植物に見られる、同じような太さの多数の細い根。
- (12) 双子葉類の植物に見られる、太い根。
- (13) 双子葉類の植物に見られる、主根から枝分かかれた細い根。
- (14) 根の先端より少しもとの部分に見られる、綿毛のようなもの。

3 植物の分類

- (1) 子葉が1枚ある被子植物。
- (2) 子葉が2枚ある被子植物。
- (3) 花弁が1枚ずつ分かれている双子葉類。
- (4) 花弁がつながっている双子葉類。
- (5) 種子をつくらない植物のなかで、維管束があり、葉、茎、根の区別がある植物。
- (6) 種子をつくらない植物のなかで、維管束がなく、葉、茎、根の区別がない植物。
- (7) シダ植物やコケ植物がつくる、子孫をふやすためのもの。
- (8) 胞子が入っているふくろ。

記述のまとめ

クラス 氏名

1 花のつくりとはたらき

- (1) やく
- (2) 柱頭
- (3) 子房
- (4) 種子
- (5) 胚珠
- (6) 受粉
- (7) 果実
- (8) 種子植物
- (9) 裸子植物
- (10) 被子植物
- (11) 花粉のう

2 葉・茎・根のつくりとはたらき

- (1) 細胞
- (2) 葉緑体
- (3) 葉脈
- (4) 維管束
- (5) 気孔
- (6) 蒸散
- (7) 光合成
- (8) 呼吸
- (9) 道管
- (10) 篩管

- (11) ひげ根
- (12) 主根
- (13) 側根
- (14) 根毛

3 植物の分類

- (1) 単子葉類
- (2) 双子葉類
- (3) 離弁花類
- (4) 合弁花類
- (5) シダ植物
- (6) コケ植物
- (7) 孢子
- (8) 孢子のう